

聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

第5章 ソロモンとイスラエル後期のリーダーたちの祈り⑧



ネヘミヤ

国のためのとりなしの祈り

神はご自分の偉大なお働きを、心に重荷を抱く人々を通してなさいます。ネヘミヤも、一步前を歩んだエズラと同様、そのような人でした。彼は同胞のユダヤ人たちのために深い悲しみを覚えていました。人前に立ち、委ねられた人々のことを深く心に留めているリーダーとは、他の人々なら避けてしまうような悲しみを体験するものです。神が私たちに、そのような悲しみを覚えるリーダーをもっと与えてくださいますように。

ネヘミヤは祈りに専心する人でした。彼が神と親しい関係にあったことは、彼が繰り返し「我が神」と、個人的な言及をしていることに明らかです。聞かれる祈りは、温かく愛に満ちた親しさを好み、形式的な堅苦しさは避けるものです。しかしながら、そのような親しさが、崇敬の念を失うことになっては絶対にいけません。私たちの造り主は、私たちの友なる方でいてくださっていますが、その方が造り主以下の存在になることは、決してあってはならないのです。

国のためのとりなしの祈り

捕囚生活の中でネヘミヤは、ユダヤの残された民がエルサレムに帰還したものの、城門は焼かれたままで、城壁は崩れたままだということを知ります(ネヘミヤ1:13)。彼は自分の町と人々の苦難、防護の欠如に心を痛めます。彼の祈りは、のんきな、すぐに忘れられてしまうようなものではありませんでした。むしろ、他の何よりも多くを求められる真剣な務めであり、涙と嘆きと断食を求められるものでした。

私はこのことばを聞いたとき、すわって泣き、数日の間、喪に服し、断食して天の神の前に祈って、言った。

「ああ、天の神、主。大いなる、恐るべき神。主を愛し、主の命令を守る者に対しては、契約を守り、いつくしみを賜る方。どうぞ、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエル人のために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエル人の罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。私たちは、あなたに対して非常に悪いことをして、あなたのしもべモーセにお命じになった命令も、おきても、定めも守りませんでした。」

「しかしどうか、あなたのしもべモーセにお命じになったことばを、思い起こしてください。『あなた

がたが不信の罪を犯すなら、わたしはあなたがたを諸国民の間に散らす。あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの命令を守り行うなら、たとい、あなたがたのうちの散らされた者が天の果てにいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住ませるためにわたしが選んだ場所に、彼らを連れて来る』と。」

「これらの者たちは、あなたの偉大な力とその力強い御手をもって、あなたが贖われたあなたのしもべ、あなたの民です。ああ、主よ。どうぞ、このしもべの祈りと、あなたの名を喜んで敬うあなたのしもべたちの祈りとに、耳を傾けてください。どうぞ、きょう、このしもべに幸いを見せ、この人の前に、あわれみを受けさせてくださいますように。」（ネヘミヤ記1:4-11）

ネヘミヤのこの祈りのように、心からの真実な祈りというものは、神を正しく認識するところから始まりま
す(5節を参照)。神は、人間をはるかに超越した存在であり、誠実で強力なお方です。そして、神について知れば知るほど、私たちの礼拝と祈りは、神に聞かれ、受け入れられるものとなっていきます。ネヘミヤは神を親しく知っていただけでなく、どのように近づいていけばいいかも知っていました。

1. **悲しみをもって(4節)**。祈りはそもそも、神との喜ばしい交わりとなるべきものですが、罪のゆえに嘆きの響きもたらされてしまいました。今はしばしば多くの涙を流すことのある時代ですが、やがて、神にあって涙なしに(黙7:17、21:4を参照)喜ぶ日が来ます。しかしながら、今日でさえ、祈りの悲しみは、罪を喜ぶことよりも勝利に満ちているのです。
2. **執拗な願いをもって(5-6節)**。ネヘミヤは神に祈りを聞いてくださいと切に願いました。彼は全身全霊を込めて、神に対する自らの礼拝の姿勢を言葉にしています。霊的な現実というものは、本気で求めなければならぬものなのです。
3. **粘り強く(6節)**。ネヘミヤは昼夜を問わず祈っていました。彼の粘り強きは、ヤコブを彷彿とさせるものです。「私はあなたを去らせません。私を祝福してくださらなければ」(創32:26)。
4. **告白をもって(6-7節)**。ネヘミヤの告白は個人的なものであり、集団全体についてのものであり、また率直なものでした。
5. **願いをもって(8-11節)**。祈りはたいていの場合、何らかの特定の請願を言葉にしたものとなっています。また、神の約束や憐れみに関わるものとなることもあります。



? 質問

- 1 ネヘミヤとエズラに共通し、今日のリーダーにも求められるのはどのような姿ですか？
- 2 ネヘミヤは繰り返し「我が神」と神に親しく呼びかけています。
あなたは祈りの中でどのように神に親しく呼びかけていますか？
神とあなたの関係はネヘミヤのように親しいものになっていますか？
- 3 心からの真実な祈りはどこから始まりますか。あなたが今よりもさらに心からの真実な祈りをしたいと願うなら、具体的にどうしたらよいと思いますか？
- 4 ネヘミヤは5つの態度と思いをもって神に近づこうとしています。
あなたはこれまで5つの中のどのような態度や思いをもって祈ったことがありますか？これからどのような態度や思いをもって祈ることが必要だと思いますか？
- 5 ネヘミヤの祈りは粘り強く祈り続けることの大切さを教えています。
あなたにも、粘り強く祈り続けた結果、その祈りが聞かれたという証がありますか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

天の父なる神さま。あなたがどのような方であるか聖書から教えて下さい。あなたのご性格に基づき、親しくあなたに祈ることができますように。悲しみがあるときは悲しみそのものを祈りとして、粘り強く祈り続けることができますように。